

全自動尿分析装置

仕 様 書

隠岐広域連合立
隠岐病院

I. 仕様書概要説明

1. 調達の背景及び目的

検尿定性検査で使用する機器である。

現有機器は、尿中アルブミン測定が院内で施行できず外注にて検査を行っているが、糖尿病性腎症などで測定頻度が増加している。

以上のことから、全自動尿分析装置の導入を行う。

2. 調達物品及び構成内訳

品 名：全自動尿分析装置

構成内訳：本体

1 台

II. 基本仕様

性能、機能及び技術等に関する仕様項目に関しては、以下の要件を満たすこと。

1. 測定項目として PH、白血球、亜硝酸塩、ウロビリノーゲン、ケトン体、潜血、蛋白、ブドウ糖、ビリルビン、クレアチニン、アルブミン、比重、色調、濁度、(演算項目 Pro/Cre 比、Alb/Cre 比) の測定が可能であること。
2. 高濃度 Hb 検体を測定した後は、ノズルの洗浄を強化し、キャリーオーバーを防止する機能を有すること。
3. ブドウ糖、蛋白質の定性結果 1 ランクにつき、2 濃度以上の半定量結果を有すること。
4. 200 検体/時間以上の処理能力を有すること。
5. 10 ～ 30℃ の環境温度変化による、反応性の誤差を解消するため、試験紙測定値の温度補正機能を有していること。
6. 着色尿によるデータ乖離を防止できる機能を有していること。
7. 同時に 2 種類の試験紙を搭載し、オーダー内容に応じて試験紙を自動選択する機能を有すること。
8. バーコードリーダを有し、NW7、Code39、ITF 形式のバーコードラベル (最大 13 桁) を読み取る機能を有すること。
9. バーコード読み取り不良や検体量不足時に、エラー表示ができること。
10. バーコードラベル読み取り不良時においても通常測定を行う機能を有すること。
11. 検査情報処理システムとの、検査オーダー情報取り込み及び分析、検査結果データ送信の双方向通信機能を有すること。
12. 双方向通信異常時においても測定が可能であること。また、復帰後にそれらのデータを一括送信する機能を有すること。
13. 当院指定の臨床検査情報システム「シスメックス CAN 株式会社製 CAN-Net 検体検査情報システム/V.2.50」と連携すること。

III. その他特記事項

その他特記事項に関しては、以下の要件を満たすこと。

1. 納入物品の搬入に要する養生及び据付け並びに稼働のための調整等を行うこと。
2. 装置の納入場所については、当院と協議すること。
3. 納入物品の搬入、据付け及び調整については、当院と協議の上行うこと。
4. 搬入、設置、配線及び調整等に要する費用は負担すること。
5. 落札から納入までの間に装置の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合は、当院と協議の上最新の仕様にて引き渡すこと。
6. 年間を通じて故障時のための連絡体制が整備されていること。
7. 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有すること。
8. 納入検査終了後から 1 年間は機器の無償保証期間とし、機器が正常に稼働し、臨床上最適に使用できるように定期的な点検を実施すること。また、保証期間中に発生した使用者の過失によらない故障等に係る点検、修理等については、無償保証の対象とすること。
9. 納入物品は、納入後において少なくとも耐用年数中は稼働に必要な消耗品及び故障時における交換部品の安定した供給が確保されていること。
10. 取扱説明書及び簡易取扱説明書は、日本語版で 1 部以上提供し、また、電子媒体での提供も行うこと。

11. 納入物品には、基本的機能を損なわないよう必要な付属品等を備えること。
12. 納入物品のうち、薬事法の製造承認対象となる医療器具は、厚生労働大臣の承認を受けていること。
13. 納入物品のうち、臨床検査情報システムへの接続に要する費用は負担すること。
14. 本仕様書に明示無き事項については、当院の指示のもとに実施すること。